

時事新報

第九議會は昨二十八日を以て無事に終りを告げたり抑
も議會開設以來の歴史を見るに毎度の不始末にて豫算
の不成立に丁寧なる所とて屢々なりしに今回は甚だ
穩として豫算は勿論その他諸法案いづれも目出度
く通過したるは先づ以て上首尾ぞ云はざるを得ず畢竟
日清戰爭の一事よりして國內の人情自から一致の實を
呈し戦後經營の眼目たる軍備擴張案の如き増税法案の
如き何人も異議を唱へるものなかりしが爲めとは云ひ
ながら又一つには政府の當局者が自由黨と結託して議
場に多數を占め反對論を制して原案の通過を容易なら
しめたるの一事、與りて力ありと云ふ可し我輩は敢て
議場に反對論のなきを欲するものに非ず多數の勝負が
只政府の發案に盲従して一も二もなく之に盲判するが
如きは最も好まざる所なれど左ればとて從來の如く
何事も政府に反対する其反對論は兎も角も眼前に必要
なる事業を一切高闘に束ねて毎年々々れ流れとは如何
にも堪へ難き次第なりしに然るに今度の成績を見れば
我輩の希望に於ては尙ほ不満足の廉、少なからざるに
も拘らず兎に角に必要な法案だけは無事に通過して成
立せしめたるは之を稱して開設以來の上出来ぞ云はざ
るを得ず當局者が一方ならぬ政局、自由黨を味方とし
て議場に多數を制したる其効能果して空しからす得意
想ふ可なり只今後に注目す可きは政府が自由黨に對
する始末にして政府は如何なる方法を以て之に馳ひ又
自由黨は如何なる條件を要求す可きや何れ此論には濟
まさるみとならんれども是れは双方相互の關係をし
て我輩は唯無事の開設を祝するものなり

Digitized by srujanika@gmail.com

○臺灣總督府

海軍中將の官に在るもの之に任命せられ天皇に直隸し
臺灣條例の規定及び拓殖務省大臣の訓令に従ひ行政司
法の事に辦理し並に特別の委任に依り其管轄區域内に
在る陸海軍を統率して所部の官吏を統督し奏任文官の
進退は内閣總理大臣を經て上奏し判任官以下は專行の
權を有し又總理大臣を經て文官の敍位敍罰を上奏する
を得べし

職員 政務總長、事務官、參事官、秘書官、技師、屬、技手
にて總計三百四十九名を置く其權限は左の如し

政務總長(勅任一人) 總長は總督を佐げて行政司法に
關する事務を整理し及び各部の事務を監督す

事務官(勅任三人奏任三人) 事務官は各部に分属して
總督又は政務總長の命を承け其主務を掌理す

參事官(奏任三人) 參事官は總督又は總長の命を承け
審議立案を掌り又は臨時命を承けて各部の事務を助く
るふあるべし

秘書官(奏任一人) 上官の書類を承け庶事に付す
書類若千人) 上官の書類を承け技術に付す

技師若干人) 各部に分属し上官の命を承け技術

屬 内務部、財政部、農業部、通商部、

以上は目下其筋にて略ば調査済となりたる總督府官制に就て聞き得たる所の大要を記せしものなれども尙ほ此外に特別の條例を規定して總督府に軍務部を置く都合なりと云ふ。

○伊太利軍遠征の目的

アフリカアビシニアへ遠征せる伊太利軍の大敗せし由は前號の本紙に記載したりしが同國の此遠征を企つるに至りし所據なりとて英國のサタードーレヴィューに記す所に據れば其目的はアフリカの王メチレックを廢し同國の北部を占領せんとするのみに非ずして南部のフルーラー亞と云へる地帶を統治なる高原を獲んとするも其眞意なれ抑もアビシニア國はアビシニア本部をシヨアの頃までは後の二地共に埃及に屬せしが反亂絶えず統治に苦しむしかば其後放擯の姿を成り居りしにメチレック王は國域に在なき沃野あるを見て重灘の情勢する能はず終に之を略取じたり然るに伊太利の紅海沿岸に所有する殖民地は土地確にして植種に力を費やすも功を成ししるべを蒙るべフルーラー亞を進取せんとする

馴合婿

第十一回

摩郡青梅町大字面分七一番地旅人宿宇田林藏方物置
より出火一棟焼失原因は放火なりしと

小説 剣合婿

第十一回

癪瘡かゆくずきすざれの無茶苦茶腹に、止める町子を振拂つて飛出でたる迄は正氣なりしが腹の蟲の居所の悪かりし折に煽りかけたる種存みなれば、外へ出て氣のゆるむと共に、車にも身體の堪こらへ得ぬ迄に泥醉なづけとなりて、流石名高き若手辨士べんしそのの猩き々きも正體なく、我事務所へ歸りしまでは、脇氣わききにも覺ゆれど、夫より後は勘後不覺、我身在りとも覺えぬまでに、打作れたるまゝ眠りみけ
平常夜に酔ふて眠る時は、一息に夜明まで眼覺むる事とては無けれど、今日は格別に分量を過したる事とて一眼りせしかと思ふ間もなく、何處となく痛苦しく思苦しき儘に正氣づけば、身は平常の我辨の程に在りて洋服下の肌着はだぎやと腰引こしとのみにて寝て居たり、されど夜具のフワリとかれられたるは、眞ひかねこれ元の注意なるべし、酒さけは已にさめなれど、零こぼとして頭

と、八方美人
らせんとす。
にて手に乗る
曲者、天から
のならぬ様に
きにわらす、
ら、顔も洗は
①皮の厚さ加
強一重を蹴破
んと思ひしが
て、暫時思案
力も無く、此
仕舞にて
此敵を打つ手
が事一、何ぞ
考ふる間に、
と起ある。猶
處しりん、

主の伊に對して無禮の振舞あるを挙ひ機乗す可しと爲めし今度の戰端を闘さしものなりと
○支那終た教ふ可からず 支那は日本の爲めに未來永劫雪ぐ可からざる耻辱を被りたれば流石に昔日の頑迷子舊を撲滅して是れより文明に向ふならんと思の外、絶えて悟る所なく次第に舊體に立ち返らんとするみを遺憾なれ其狀恰も性來愚鈍の小學校生徒が年長者の力に依頼するに異ならずして遼東半島遠附の先例もあれば萬一再び他國と難を消ふるが如き事あらんか歐州強國は之を傍観せば必ず力を假するなる可しと頼み難きを頼み漫に他人の庇蔭に依頼するは淺聞しき限りと云ふ可し現に露帝の戴冠式ふそば風強の奸機なれば皇族の一人を遣はし親王を皇帝の名代として該式に列せしむ可しと百方勧誘したれども終に之を容れず餘命幾許もなき李鴻章を強て起たしめ暫く邪魔者を拂除けんとしたる反對派の心事實に淺果にして斯く國家の大事を他所にし着腦の間を事とするとは慨ほしき次第と云ふ可しと(上海マーキュリー)

○變造銀貨行使者捕縛 麻布區廣尾町十八番地森定吉方圓周梅賀秀吉(十六年)は小刀を以て半錢銅貨の字を二十と直し綠日にて買求めたる銀幣粉にて二十錢銀貨を變造爲し一昨日八時頃芝區愛宕町三丁目五番地即ち所尾崎キン方に到り二錢の銀貨を買ふて十八錢の釣錢を取り仕合好しと國家を立去りたる處キンは跡にて右銀貨を熟視するに變造なるを以て直ちに秀吉を追跡し最寄の巡査に其旨を訴へたるより秀吉は直ちに捕押の上検事局へ送附せらる

○僞造銀貨發見 牛込區神樂町一番地牛肉店鈴木安太郎方に於て唯裏裏面を規定する際五厘の銀貨を最も巧みに二十錢銀貨に變造したるを發見せしに付き直ちに其筋へ届出でたり

と、八方美人らせんとす、にして手に乗る曲者、天からのならぬ様にきにわらず、ら、顔も洗は(1)皮の厚さ加減一重を蹴破りて、暫時思案今迄は堅立たんと思ひしが、得も忘れて居力も無く、此仕舞にて此敵を打つ手が事一、何ぞ考ふる間に、と起ある。猶も、起りん、